

- 極端に目に近づけて、文字や絵を見ている。
- ものを見るときに、顔を傾けたり目を細めたりしている。
- 文字や本を読むとき、行をとばしたり読み間違えたりすることが多い。
- 画数の多い漢字や細かい目盛り、地図などを見るのが大変で疲れる。
- ものを探すときに、手探りで探している。
- ボール遊びのときに、ボールがどこから来ているかが分からない。

お子様の見え方について、 このようなことで お困りではありませんか？

- ものにぶつかることが多い。
- 小さな段差などで、つまずいたり転んだりすることが多い。
- 段差や階段を極度に嫌がったり怖がったりする。
- 日差しを極端にまぶしがる。逆に、光に対して反応を示さない。
- 暗いところで、極端に見えにくそうにしている。
- 遠方のものや小さくて見づらいものに興味を示さない。

東京都の弱視通級指導学級・盲学校（視覚障害特別支援学校）へ、いつでもお気軽にご相談ください。

小学校

- 1 葛飾区立住吉小学校
- 2 足立区立五反野小学校
- 3 江戸川区立小岩小学校
- 4 江戸川区立第四葛西小学校
- 5 中野区立中野本郷小学校
- 6 大田区立東調布第三小学校
- 7 練馬区立中村西小学校

- 8 世田谷区立笹原小学校
- 9 町田市立本町田東小学校

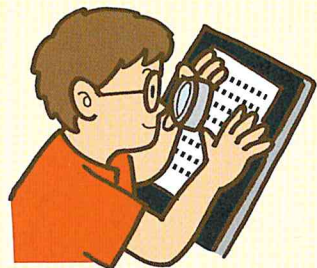
中学校

- 1 葛飾区立立石中学校
- 2 練馬区立開進第三中学校
- 3 江戸川区立松江第一中学校

盲学校

- 1 東京都立八王子盲学校（幼小中高）
- 2 東京都立久我山青光学園（幼小中）
- 3 東京都立葛飾盲学校（幼小中）
- 4 東京都立文京盲学校（高）
- 5 筑波大学附属視覚特別支援学校（幼小中高）

近用レンズ・書見台の活用



・書見台を使うと、姿勢よく見る・読むことができます。

【近用レンズ】



・近くのものを見るルーペ。細かい文字などを読むときに使うレンズです。

単眼鏡による書き写し



・遠くをみるレンズで黒板を見て書き写す練習。

【単眼鏡】



・遠くのものを見る時に使うレンズです。

見やすくする工夫や、よく見る練習をすることで
学習の様子はずいぶん変わってきます。

弱視通級指導学級や盲学校（視覚障害特別支援学校）では、
学習上・生活上の困難に応じて、一人一人にきめ細かな指導を行っています。

視覚障害に関しては、
できるだけ早期の相談と支援が有効です。

目と手の協応

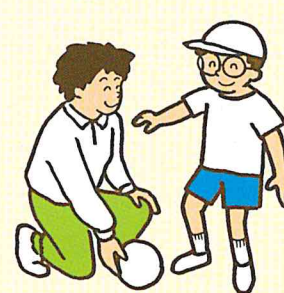


・はさみの使い方を練習。

理科や家庭科の補充



運動の学習

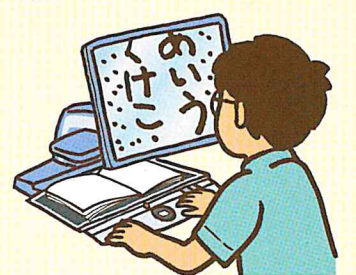


拡大教科書の活用



・文字を大きく太く、図などを
見やすくした教科書。

拡大読書器の活用



・本などの文字をモニター画面に
拡大して映し出す機器。

白杖の使用



・白杖（盲人用安全杖）の使い方を学びます。
（周囲への注意喚起の役割も果たします。）

【拡大読書器】

